

PENTAX®

ESPIO mini

QUARTZ DATE

使用説明書



このたびは、ペンタックス ESPIO MINI（エスピオ ミニ）デートをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。「エスピオ ミニ」はフィルム途中でのパノラマ／標準撮影の切り替え、離れたところから撮影できるリモコンなど、いろいろな機能を搭載したコンパクトカメラです。

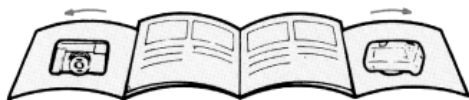
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 説明文中の  内の注意事項には、特に気を付けてお読みください。
- 本文中の写真・イラストは、実際の製品と異なる場合があります。

※ 各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開いて各ページを読みながらご覧いただけます。

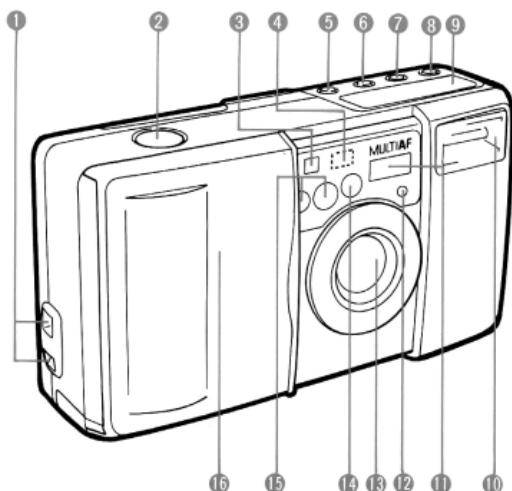
記号について

操作の方向	
自動的に動きます	
注目してください	
点灯します	
点滅します	
正しい	
間違い	



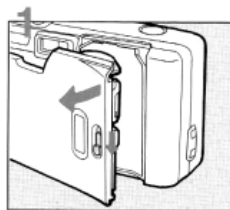
各部の名称を開いて見ながらお使いください。

各部の名称

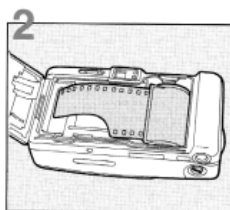


- ① ストラップ通し [3 ページ]
- ② シャッターボタン [14 ページ]
- ③ ファインダー窓
- ④ リモコン受光窓 [28 ページ]
- ⑤ デートボタン [33 ページ]
- ⑥ セルフ／リモコンボタン [21 ページ]
- ⑦ 赤目軽減ボタン [20 ページ]
- ⑧ ストロボ／バルブボタン [20 ページ]
- ⑨ 表示パネル [40 ページ]
- ⑩ ストロボ発光部
- ⑪ 測距窓
- ⑫ セルフタイマーランプ [25 ページ]
- ⑬ レンズ
- ⑭ スポットビーム発光部 [11 ページ]
- ⑮ 受光窓
- ⑯ プロテクター [4 ページ]

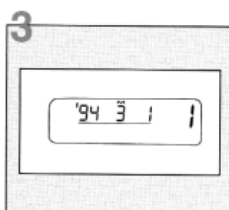
使い方は簡単です。[通常の撮影手順]



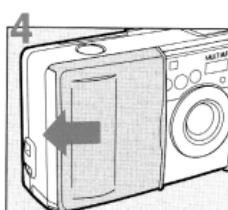
裏ぶたを開けます。
[7ページ]



フィルムを入れ、裏ぶたを閉じます。
[8ページ]



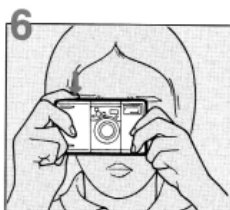
自動的に1コマ目まで巻き上がります。
[8ページ]



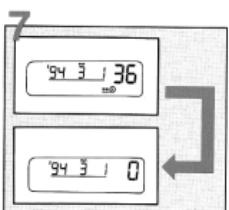
プロテクターを開けます。
[4ページ]



写したいものにフォーカスフレームを合わせます。[13ページ]



シャッターボタンを押して撮影です。暗い所では自動的にストロボが光ります。[14ページ]



フィルムが終わると自動的に巻き戻します。
[18ページ]

注意事項

- カメラ内部には、高電圧部があります。危険ですから決して分解しないでください。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- カメラ前面の測距窓・レンズ・受光窓・ストロボ発光部などを髪や手でふさがないようにください。
- 高温多湿な所に保管したり、長時間放置しないでください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラに入ると故障の原因になります。

電池について

- 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。交換するときは、十の向きに注意して正しく入れてください。
- 電池をショートさせたり、分解や充電をしたり、火の中に入ると破裂・発火の恐れがあります。
- 旅行や野外撮影などには、予備電池を用意しておくことで安心です。
- 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量不足になることがありますが、常温に戻れば使用できます。

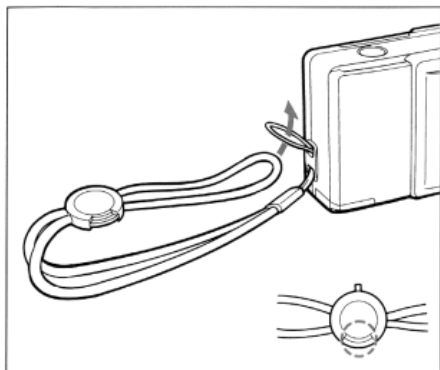
1

目次

注意事項・電池について	1
撮影前の準備をしましょう	
1. ストラップ・ソフトケース	3
2. プロテクターと電池の確認をしましょう	4
3. カメラの構え方	5
フィルムを入れて撮影しましょう	
1. フィルム感度について	6
2. フィルムを入れましょう	7
3. ファインダー内表示と撮影距離	9
4. ランプ表示	11
5. 通常の撮影モード	12
6. 撮影しましょう	13
7. フォーカスロック撮影	16
8. フィルムを取り出しましょう	18
いろいろな撮影をしましょう	
いろいろな機能の選び方／赤目軽減機能	20

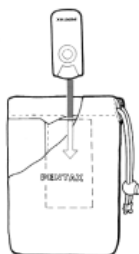
日中シンクロ撮影	22
低速シャッター撮影	23
低速シンクロ撮影	23
バルブ撮影	24
バルブシンクロ撮影	24
セルフタイマー撮影	25
リモコン撮影	26
パノラマ撮影	30
デートの使い方	33
電池の消耗警告	36
電池の交換	37
ストロボ撮影可能距離と赤目現象	39
表示パネル [グラフィックパネル]	40
取り扱い上の注意	42
こんな写真を撮るには?	44
こんなときは?	46
主な仕様	48
アフターサービスについて	51

撮影前の 準備をしましょう



ストラップを図のように取り付けます。ストラップの図の部分は電池ふたを開けるときにご利用ください。

別売で、長さの長い肩かけ用のストラップもあります。取り付け方法は付属のストラップと同じです。

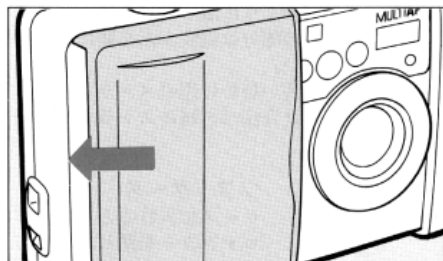


ソフトケース

ケースに入れるときは、プロテクターを閉じておいてください。[プロテクターについては、4ページをご覧ください。] ソフトケースの内側には、リモコンを収納するためのポケットがあります。

3

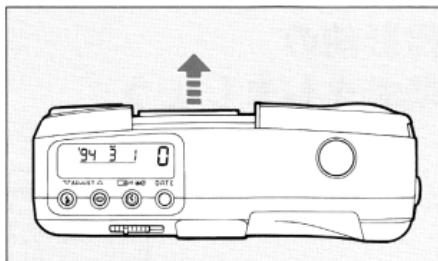
2 プロテクターと電池の確認をしましょう



プロテクター

「カチッ」と音がするまでプロテクターを開けるとレンズが少し前に出て撮影可能になります。使用しないときは、プロテクターを必ず閉めておいてください。

3Vリチウム電池[CR123A相当品]1本を使用します。カメラ本体とデパート機構に共用しますので、電池消耗時の交換以外は、電池を抜かないでください。



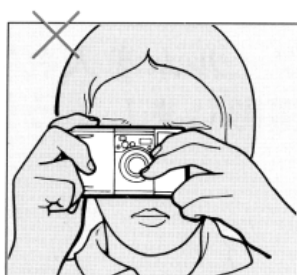
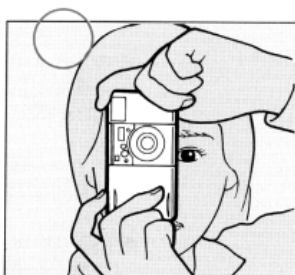
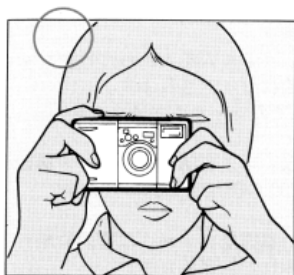
電池の確認 [チェック]

プロテクターを開けたとき、レンズが少し前に出れば撮影できます。

[表示パネルに  マークが出ているときは、36ページをご覧ください。]

※プロテクターが開いたまま放置した場合は、放置後約5分間たつと、自動的にレンズが収納されますが、撮影はそのまま続けられます。

3 カメラの構え方



撮影するときは、カメラを両手でしっかり持ち、カメラが動かないようにして、シャッターボタンを静かに押しましょう。[強く押すとカメラが動いて、ぶれやすくなります。]
木や建物・テーブルなどを利用して、からだやカメラを安定させるのも良い方法です。
カメラを縦位置に構えてストロボ撮影するときは、ストロボが上になるようにしましょう。

- カメラ前面の測距窓・レンズ・受光窓・ストロボ発光部などを、髪や手でふさがないように。

5

1 フィルム感度について

フィルムを入れて 撮影しましょう

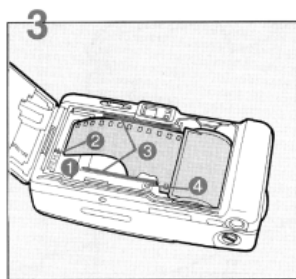
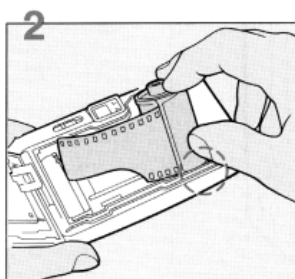
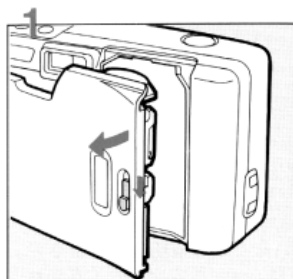
フィルムは一通り説明書を読んでカメラ操作に慣れてから、入れましょう。

フィルム感度自動セット

このカメラでは、フィルムを入れるだけでフィルム感度が自動的にセットされます。
[ISO25～3200 までのフィルムが使えます。]

※フィルム感度は、手ぶれ防止やストロボ撮影に有利な ISO400 の使用をお勧めします。

- ISO1000 以上の高感度フィルムは室内や暗い所での撮影用にご利用ください。
- ほとんどのフィルムが、フィルム感度を自動的にセットできる DX フィルムですが、DX 以外のフィルムではフィルム感度が 25 にセットされてしまいますので使用できません。



1. 裏ぶたを開ける

図のように、裏ぶたの開放レバーを矢印方向に押し下げて、裏ぶたを開けます。

2. フィルムパトローネを入れる

パトローネ下側を先に入れると簡単に入ります。

3. フィルムの先端を合わせます

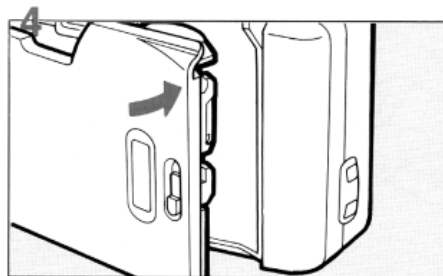
フィルムを少し引き出して①のローラーの上に乗せ、②のフィルム先端マークに合わせます。

- フィルムが③のガイドレールの間に入っていることを必ず確認してください。
- フィルム検知部④にゴミなどが付着するとフィルムが正しく巻き上げられません。



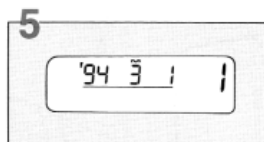
×フィルムのたるみあり ○フィルムのたるみなし

7



4. 裏ぶたを閉じる

裏ぶたを閉じると自動的にフィルムが巻き上げられ、1枚目まで進みます。



5. フィルム巻き上げの確認

上図のように、フィルムカウンターに「1」が出て自動的に止まります。必ずフィルムカウンターが「1」になっていることを確認してください。「1」が出ないときは、フィルムが正しく巻かれていません。フィルムを入れ直してください。フィルムが正しく入っていないと、表示パネルに「E」が点滅して知らせます。

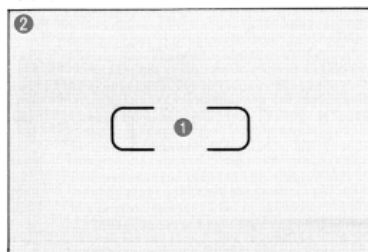
※フィルムが入っていないくても、裏ぶたを閉じるとモーターは約1～2秒間回ります。

※フィルムカウンターは、プロテクターを閉じても表示されます。

←7 ページの図のように、フィルムはたるみがないように入れてください。

- フィルムの先端が長く出すぎているときは、フィルムをパトローネに少し押し戻します。
- フィルム先端が極端に折れ曲がっているものは、まっすぐに直すか、曲がった部分を切り取ります。

<標準撮影>



ファインダー内の表示を覚えましょう。

標準撮影

①オートフォーカスフレーム

②視野枠

標準撮影で写る範囲です。写したいものをこの枠内に入れて撮影してください。

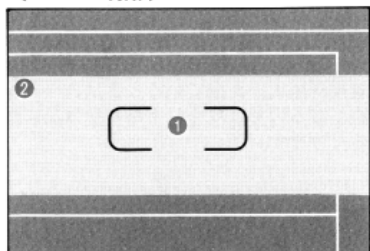
パノラマ撮影

①オートフォーカスフレーム

②視野枠

パノラマ撮影で写る範囲です。写したいものをこの枠内に入れて撮影してください。

<パノラマ撮影>



近距離補正枠

エスビオ ミニでは、撮影距離が約 1m 以下になると、ファインダー内の視野枠が次ページの図のように自動的に変化し、補正されますので、この範囲に写したいものを入れてください。

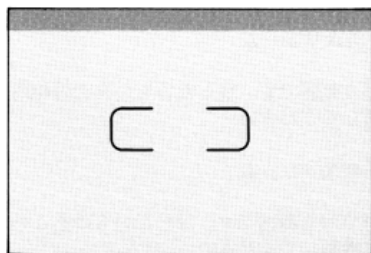
撮影距離[標準/パノラマ]

- 撮影は 0.3m～∞ [無限遠] の範囲で可能です。
- 0.3m より近い距離ではピントが合いません。

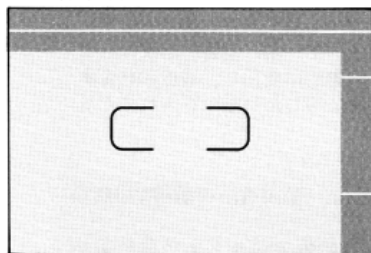
9

近距離視野補正枠

<標準撮影>

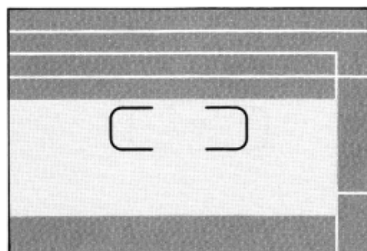


撮影距離が約 0.6～1m の場合



撮影距離が約 0.3～0.6m の場合

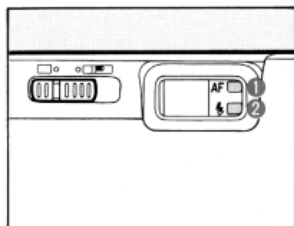
<パノラマ撮影>



撮影距離が約 0.3～0.6m の場合

※近距離視野補正枠が出ているときは、写る範囲が狭くなるのではなく、下あるいは左に移動するだけです。

4 ランプ表示



シャッターボタンを少し押して図の①②のランプ表示を確認して撮影しましょう。

- ① 緑ランプ 点灯[撮影可能・フォーカスロック]
点滅[測距不能警告]
- ② 赤ランプ 点灯[ストロボ発光]
点滅[ストロボ充電中]

※緑ランプ点滅は、撮影距離が近すぎるかオートフォーカスが苦手な被写体 [15 ページ参照] のため測距ができないことを知らせます。撮影するときは、必ず緑ランプ点灯を確認してください。

緑ランプ点滅中でもシャッターボタンを押せば撮影はできます。この場合のピントはその時の明るさにより、被写体がどの位置でも比較的ピントが合い易い位置に設定されます。

赤色補助光（スポットビーム）について

暗いところやコントラストの少ない被写体ではオートフォーカスの精度が低下しますが、こんなときにシャッターボタンを少し押すと、赤色光（スポットビーム）を自動的に投光してオートフォーカスが作動し易くします。

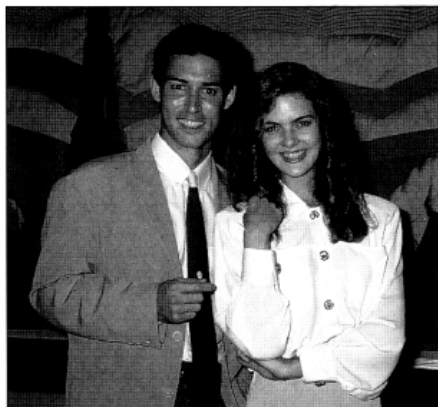
11

5 通常の撮影モード

プロテクターを開けると、通常の撮影モードになります。

この撮影モードでは被写体が暗い所で自動的にストロボが発光します。

- 他の表示のときは、レンズカバーを閉めてから開けると通常の撮影モードに戻ります。

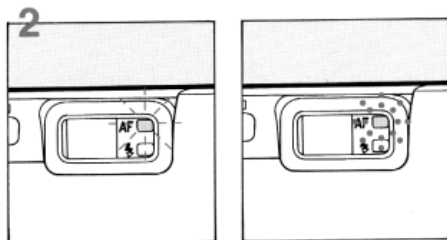


※ストロボ自動発光時のシャッタースピードは約 1/40 秒です。[ISO100 フィルム使用時]



1. 構図を決める

画面中央の□オートフォーカスフレームを写したいものに合わせます。



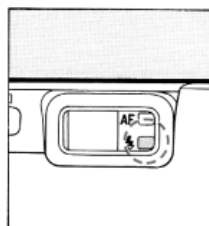
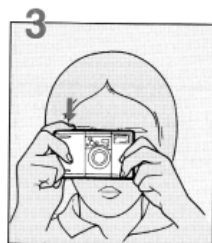
2. ランプ表示の確認

シャッターボタンを少し押し、ピントが合うと緑ランプが点灯します。

緑ランプおよびオートフォーカスフレームが点滅を続けるときは、以下の理由でピント合わせができないときです。

- ① 撮影距離が近すぎる (ランプが点灯する位置まで離れてください)。
- ② オートフォーカスが苦手な被写体の場合 [15ページ参照]。

13



3. 撮影

さらにシャッターボタンを押すと撮影できます。[撮影後フィルムは1枚巻かれます。]

※シャッターを切ると同時にセルフタイマーランプが一瞬点灯して撮影を知らせます。

※一度ピントを合わせてから、別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンを押し直してください。

ストロボ自動発光

被写体が暗いときや逆光のときには、ストロボが自動発光します。赤ランプの点灯は、ストロボが発光することを知らせます。赤ランプの点滅は、ストロボの充電中でシャッターが切れませんので、赤ランプの点灯を確認してから撮影してください。

「エスビオミニ」には、ストロボ2度発光による赤目軽減機能が付いています。詳しくは20ページおよび39ページをご覧ください。

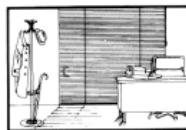
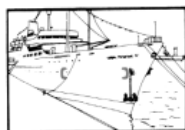
ストロボ撮影できる距離 [ネガカラーフィルム使用時]

ISO	100	200	400
距離	0.3~3.7m	0.3~5.3m	0.35~7.5m

オートフォーカスの苦手な被写体

オートフォーカス機構は、万能ではありません。被写体の明るさ・コントラスト・形状・大きさなどによって、ピントが合わない場合があります。そんなときは、被写体とはほぼ等しい距離にあるピントを合わせ易いものにフォーカスロックをしてください。[16 ページ参照]

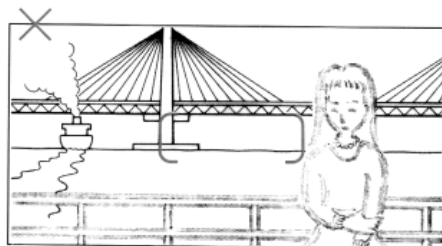
- a) ☐ オートフォーカスフレームに白い壁や青空などの極端にコントラスト（明暗差）の低い被写体がある場合。
- b) ☐ オートフォーカスフレームに光を反射しにくい被写体がある場合。
- c) 非常に速い速度で移動している被写体。
- d) ☐ オートフォーカスフレームに横線のみ被写体や細かな模様の被写体がある場合。
- e) 遠近のものが ☐ オートフォーカスフレームの中で同時に存在する場合。
- f) 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい被写体）。



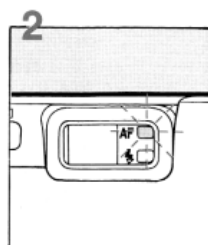
15



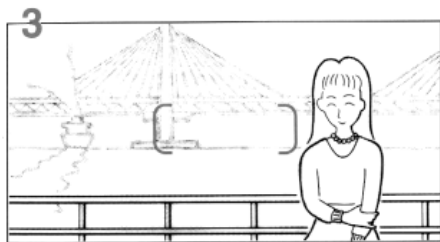
フォーカスロック撮影



こんなときは注意しましょう！
このまま撮影すると、図のように人物にはピントが合わず、後ろに合ってしまう。
ピントを合わせたいものがファインダー中央の ☐ から外れているときは、右の操作説明に従ってフォーカスロック撮影をしましょう。
[フォーカスロックとは、撮影前にピントを合わせて、それを一時的に固定することです。]



1. ☐ オートフォーカスフレームを合わせるピントを合わせたいものに ☐ を合わせます。
2. フォーカスロック [緑ランプ点灯]
シャッターボタンを少し押すと緑ランプが点灯して、ピントと露出が固定されます。

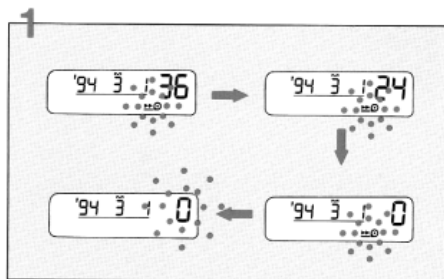


3. 構図に合わせて撮影します
シャッターボタンを少し押したまま写したい構図にして、シャッターを切ります。

※フォーカスロックは、シャッターボタンから指を離すと解除されます。



フィルムを取り出しましょう[フィルムは直射日光が当たらない所で取り出しましょう]



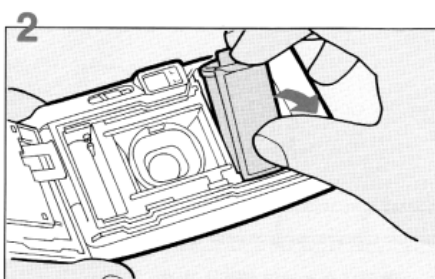
1. フィルムの巻き戻し

フィルムの最後まで撮り終わると、レンズが自動的に収納され、巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わるとモーターは止まり、図のようになります。[0] が点滅して知らせます。

※巻き戻し時間は24枚撮りで約20秒です。

※巻き戻し中は、撮影枚数が逆算表示されます。

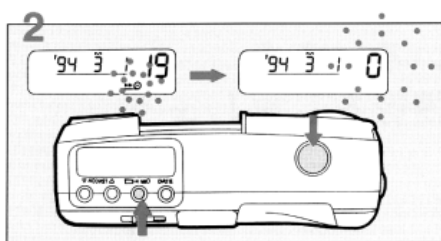
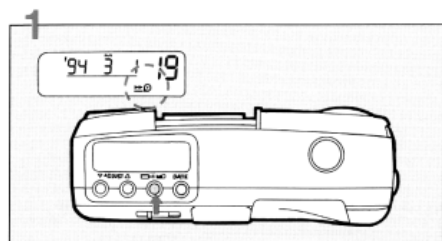
※巻き戻し完了時、光もれを防ぐためフィルムは、パトローネに巻き込まれます。



2. フィルムの取り出し

裏ぶたを開けて、図のようにフィルムを取り出します。

- フィルムの規定枚数を越えた最後のコマは、現像処理でカットされることがあります。
- 巻き戻し中は裏ぶたを開けないでください。



フィルムの途中巻き戻し

フィルムを途中で取り出したいときは、次の操作をしてください。

1. プロテクターを開けて、セルフ/リモコンボタンを3秒以上押し続けると、表示パネルに マークが表れて、途中巻き戻しモードになります。

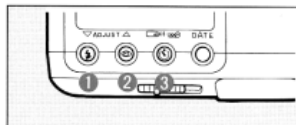
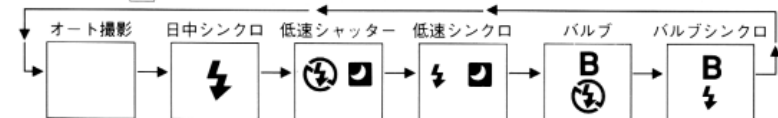
2. セルフ/リモコンボタンを押したまま、シャッターボタンを押すと、巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わるとモーターは止まり が点滅して知らせます。

19

いろいろな機能の選び方／赤目軽減機能

いろいろな 撮影をしましょう

露出方式 [① ストロボ/バルブボタンを押すと、いろいろな「露出の方式」を選ぶことができます。]

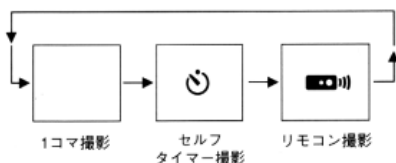


- ①③のボタンは、1回ずつ押して合えます。
- 通常の撮影では、図のように「オート撮影で1コマ撮影」に合わせてご使用ください。

プロテクターを開けるとこのモードになります。

- ②の赤目軽減ボタン を押して表示パネルに を表示させておくと、ストロボが2度発光します。シャッターが切れる直前に最初のストロボ発光「小光量」が行なわれ、瞳径を小さくしてからストロボ撮影をするので、目が赤く写るのを目立たなくすることができます。もう一度押すと解除されます。

撮影方式 [図の③] セルフ／リモコンボタンを押すと、「撮影の方式」を選ぶことができます。]

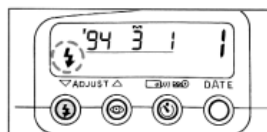


※露出方式、撮影方式がどのモードでもシャッターを一度切った後に①、③のボタンを押すと「オート撮影」および「1コマ撮影」にそれぞれ戻ります。

※③ [セルフ／リモコン] ボタンを3秒以上押し続けると、途中巻き戻しモードになります。 [19ページ参照]

21

日中シンクロ撮影



ストロボ／バルブボタンを押し、表示パネルに [ストロボアイコン] 表示を出します。明るい所でも暗い所でもストロボ撮影

になります。

逆光以外でも被写体の顔が陰になってしまうような場合に、ストロボを利用すると、陰の取れたきれいな写真が撮れます。また、常時ストロボ撮影を行いたいときにもご使用ください。



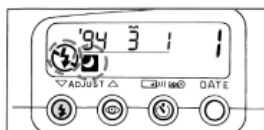
ストロボなし

- シャッターボタンを少し押して、赤ランプ点灯を確認してから撮影してください。赤ランプの点滅は、ストロボの充電中です。
- 日中、ストロボを補助光として使用する場合にも、「ストロボ撮影できる距離の範囲内」で撮影してください。 [14 ページ参照]



ストロボ使用 日中シンクロ

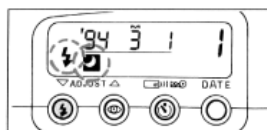
低速シャッター撮影



ストロボOFF
[発光停止]
ストロボ/バル
ブボタンを押
し、表示パネル
に  表示を

出して撮影します。

暗い所でもストロボを発光させないで、約2秒までの低速シャッターで撮影できます。ストロボが使えない場所[劇場、美術館など]での撮影にご利用ください。また、室内の照明を利用して雰囲気のあるソフトな写真も楽しめます。



低速シンクロ撮影
[ストロボ使用]
ストロボ/バル
ブボタンを押
し、表示パネル
に  を表示

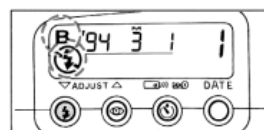
させると、低速シンクロ撮影になります。

暗い背景で人物撮影をするとき、人物にはストロボ光があたり、背景も遅いシャッタースピードでバランス良く写せます。

- 暗い所ではシャッター速度が遅くなるので、カメラぶれを防ぐために三脚などをご使用ください。

23

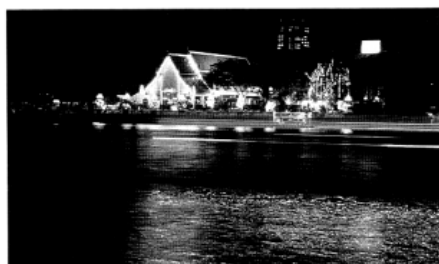
バルブ撮影・バルブシンクロ撮影



バルブ撮影
ストロボ/バル
ブボタンを押
し、表示パネル
に  B 表示を
出して撮影しま

す。

シャッターボタンを押している間、シャッターが開いて最長5分までの長時間露出ができます。花火や夜景の撮影にご利用いただけます。撮影時は、カメラぶれを防ぐため三脚などに固定してください。



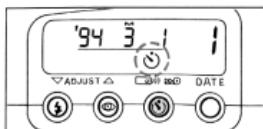
バルブ撮影
ISO100で約3秒間の撮影



バルブシンクロ
撮影
ストロボ/バル
ブボタンを押
し、表示パネル
に  B 表示を

出して撮影します。バルブシンクロ撮影ではストロボが使えますので、夜景などを背景にした人物撮影ができます。

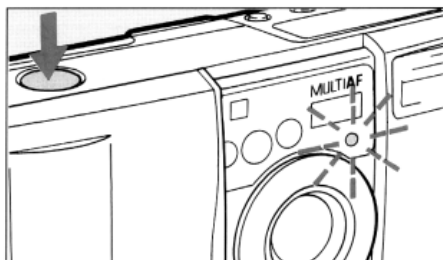
セルフタイマー撮影



撮影者も入って記念撮影をするときなどにご利用ください。撮影時は三脚などを使用してくだ

さい。

セルフ／リモコンボタンを押して、表示パネルに ⌚ 表示を出して撮影します。



写したいものにピントを合わせてから、さらにシャッターボタンを押すと、約10秒後にシャッターが切れます。

セルフタイマーの作動中は、表示パネルの ⌚ の点滅とセルフタイマーランプの点灯で知らせます。シャッターが切れる約3秒前から、ランプは点滅に変わります。

25

リモコン撮影

- カメラ前面に立ってセルフタイマーをスタートさせると、写したいものにピントが合わなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- セルフタイマーをスタートさせた後に中止したいときは、シャッターボタン以外の操作ボタンのいずれかを押してください。
- ストロボ撮影のときは、ストロボの充電完了〔赤ランプ点灯〕を確認してから、セルフタイマーを作動させてください。
- セルフタイマーを使ってバルブ撮影をした場合、シャッター速度は約1/2秒になります。

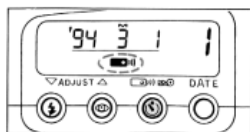
このカメラはリモコンによる遠隔撮影ができますから、カメラから離れた所から撮影することができます。リモコンのシャッターボタンを押すと3秒後にシャッターが切れます。

※リモコン撮影するときは、三脚等をご利用ください。

※リモコン撮影時もカメラ側の各露出モードとの組み合わせによる撮影ができます。ただし、撮影方式は、「1コマ」撮影だけとなり、「セルフタイマー撮影」は使用できません。

※バルブ撮影のときは、リモコンのシャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。〔最長約5分〕

カメラのセルフ／リモコンボタンを押して、表示パネルに  を出します。



リモコン各部名称

シャッターボタン

リモコン投光部



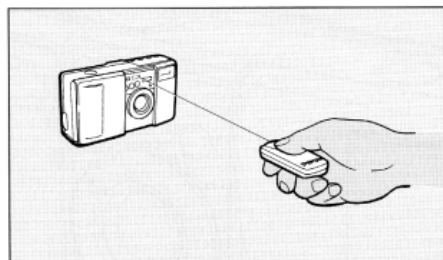
ランプの点滅

撮影モードをリモコン撮影モードにするとカメラ前面のセルフタイマーランプがゆっくり点滅し、リモコン撮影ができることを知らせます。

※このとき、カメラのシャッターボタンを押すと通常の1コマ撮影になります。

※リモコン撮影モードのまま、約5分間放置すると、自動的にレンズが収納され1コマ撮影になります。

27



撮影

ファインダーで構図を決め、オートフォーカスフレームを写したいものに合わせます。カメラから離れてリモコン受光窓にリモコン投光部を向け、リモコンのシャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが3秒間早い点滅をした後シャッターが切れます。

※ リモコン撮影時のフォーカスロックはできませんので、リモコンのシャッターボタンを押したときのオートフォーカスフレームに合っているものに、ピントが合います。

リモコン撮影のできる距離

カメラ前面受光窓の真正面から約5m以内

- 逆光時はリモコン撮影ができないことがあります。その場合は、通常のセルフタイマー撮影をご利用ください。

- ストロボ充電中はリモコン操作はできません。

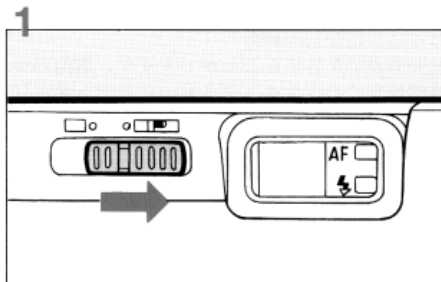
※リモコンを使用しないときは、ソフトケース内側のポケットに入れておくとう便利です。

[3 ページ参照]

リモコン用電池の寿命

約30,000回送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスサービスセンターにご用命ください。[有料]

パノラマ撮影



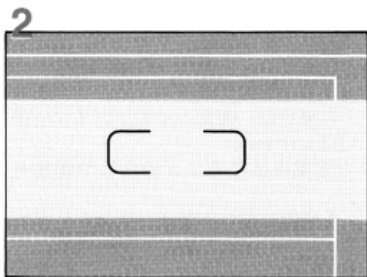
「エスピオ ミニ」では、撮影途中でも自由にパノラマと標準撮影とを切り替えることができます。

パノラマ撮影では横長[フィルム上で13×36mm]のダイナミックな写真が楽しめます。

1. パノラマ撮影に切り替えます

パノラマ切り替えスイッチを[P]に合わせるとパノラマ撮影モードになります。

※パノラマに切り替えると、ファインダー内がパノラマ用に横長になります。



2. 撮影します

パノラマの視野枠内に写したいものを入れて撮影してください。

- 0.6m より近距離でのパノラマ撮影では、標準撮影同様に、ファインダー内の視野枠が自動的に変化し、補正されますので、この範囲に写したいものを入れてください。
[10 ページ参照]



赤線は日付や時刻の写し込まれる位置

パノラマデートについて

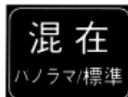
標準撮影と同様にパノラマ撮影でも画面内右下に日付や時刻を写し込むことができます。使い方は標準撮影の場合と同じですので、「デートの使い方」33ページをご覧ください。

標準デートとパノラマデートの切り替えは、パノラマ切り替えスイッチのセットにより自動的に行なわれます。

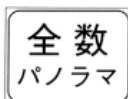
パノラマプリントについて

パノラマモードで撮影されたフィルムの現像／プリントをご依頼になるときは、必ず付属のパノラマシールをフィルム「パトローネ」に貼り、パノラマプリントをご指定ください。

- パノラマと標準撮影を途中で切り替えて撮影した場合 →



- フィルム全数をすべてパノラマで撮影した場合 →



※パノラマモードで撮影した場合、通常の同時プリントに比べ日数、料金がかかります。

詳しくは、お店でおたずねください。

※パノラマ／標準混在の場合、お店によっては同時に仕上がらないことがありますので、現像のみを先に仕上げてプリントを依頼するなどの方法がありますので、お店にご相談ください。

※パノラマ撮影では、図のように標準撮影のフィルム1コマ分の上下をカットするだけですから撮影枚数は、標準撮影のときと同じです。

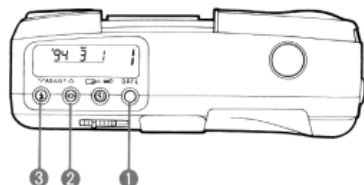


※パノラマモードで撮影したフィルムを通常サイズのプリントにすると、上下に黒い帯が写し込まれます。

※パノラマプリントされるのはフィルム中央部のおよそ12mm×35mmの範囲で、フィルム上に写し込まれる範囲は、これより若干広がりますがファインダーで見える範囲はパノラマプリントされる範囲とほぼ同じになります。

※パノラマプリントはおよそ89×254mmのサイズにプリントされます。これは標準撮影されたフィルムを六ッ切りサイズに引き伸ばしたものとほぼ同じ倍率になります。

デートの使い方



モードの切り替え

①の **DATE** ボタンを指で押して、希望の表示を出します。

※日付や時刻を写し込みたくない場合は、**----**に合わせます。

※表示パネルの **M** は「月」の位置を示しています。

※プロテクターが閉じていると、モードの切り替えはできません。



- ① **DATE** : 切り替えボタン
- ② : 調整ボタン（送り）
- ③ : 調整ボタン（戻し）

「エスピオ ミニ」クォーツデートは、2030 年までのオートカレンダー機能を持っています。日付や時刻の表示は、製品出荷時にはほぼ正しくセットしてあります。

33

日付や時刻の修正

- ①の **DATE** ボタンを3秒間押し続けると「年月日」表示の「年」が点滅します。
- ①の **DATE** ボタンを一回押すごとに点滅表示が「年→月→日→時→分」の順に移動します。修正したい表示を点滅させてください。
- ②の ボタンおよび③の ボタンは、点滅している数値を変更するときに押します。一回押すごとに数値が1つ変化し、押し続けると約2～3秒後から続けて変化します。②の ボタンを押すと数値は進み、③の ボタンを押すと数値は戻ります。
- 修正後は、①の **DATE** ボタンを押して、「年月日」表示に戻して点滅をなくします。

※「分」表示の点滅状態で、**DATE** ボタンを時報などに合わせて押すと0秒にセットされます。

※プロテクターが閉じていると、日付や時刻の修正はできません。

※修正中[点滅表示中]は、シャッターを切ってもデータは写し込まれません。

※日付や時刻は、次のように表示されます。

年=94～30 [1994～2030]
 月=1～12 日=1～31
 時=0～23 分=00～59

※電池交換を行なうと、デートは「94 年 1 月 1 日」にリセットされ、写し込み禁止 **----** モードになります。

※電池交換直後の修正では、①の **DATE** ボタンを3秒間押さなくても「年月日」の「年」が点滅し、修正モードになります。

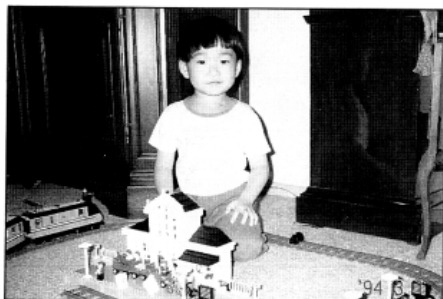
デートの写し込みについて

写し込みたい日付や時刻を選んで表示窓に出しておけば、シャッターを切るごとに写し込まれます。

※「年月日」と「日時分」を同時に写し込むことはできません。

※標準デートとパノラマデートの切り替えは、パノラマ切り替えスイッチのセットにより自動的に行なわれます。

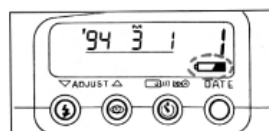
- 日付や時刻が写る部分に白・黄色などの明るい被写体来ると、日付や時刻が見えにくくなります。日付や時刻が写る部分には明るいものが来ないようにしましょう。
- 規定枚数を越えたコマでは、デートが正しく写し込まれない場合があります。



※ この写真の数字はハメコミ合成です。

35

電池の消耗警告



電池が消耗してくると表示パネルに  マークが出て警告します。早めに新しい電池と交換してください。  が点滅になると、シャッターが切れなくなります。

撮影できるフィルム本数 [24枚撮り]

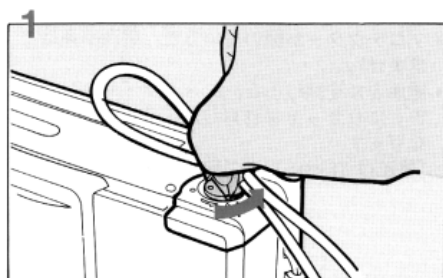
通常の撮影モードでストロボの使用率を
50%にした場合 約30本
[CR123A電池・当社試験条件による]

電池を交換するときの注意

※電池は、デート用電源と共用です。交換後は日付および時刻の修正を行ってください。
[修正は 34 ページをご覧ください。]

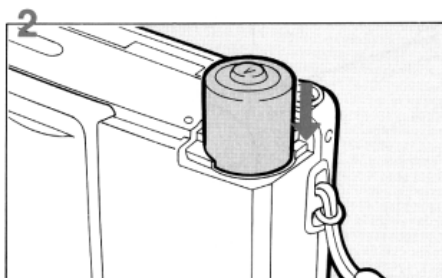
※フィルム枚数は電池を交換しても、そのまま記憶されています。

電池の交換 [プロテクターを開めます]



1. 電池ふたを開けます

ストラップの図の部分で電池ふたのロックを矢印方向に回して電池ふたを開けます。

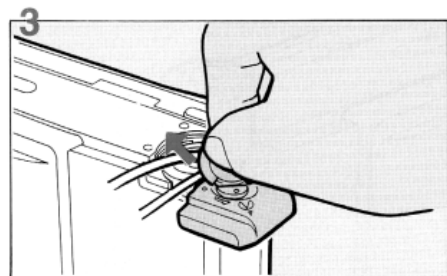


2. 電池を入れます

電池ふたの＋表示に合わせて、リチウム電池を正しく入れます。

使用電池 [3Vリチウム電池1本]
CR123A相当品

37



3. 電池ふたを閉めます

電池ふたのロックの指標が  マークに向いていることを確認して、電池ふたをしっかり押しつけながら元の位置に取り付け、ロックネジを右に回して固定してください。

- プロテクターが開いていると、電池交換はできません。
- 電池ふたを開けると、デートが「94年1月1日」にリセットされ写し込み禁止  になります。
[修正は 34 ページをご覧ください。]

ストロボ撮影可能距離と赤目現象

ISO100、200、400以外のフィルムを使用したときのストロボ撮影距離範囲

ISO	25	50	800	1600	3200
距 離	0.3～1.9m	0.3～2.6m	0.5*～11.3m	0.7*～16.0m	0.9*～22.5m

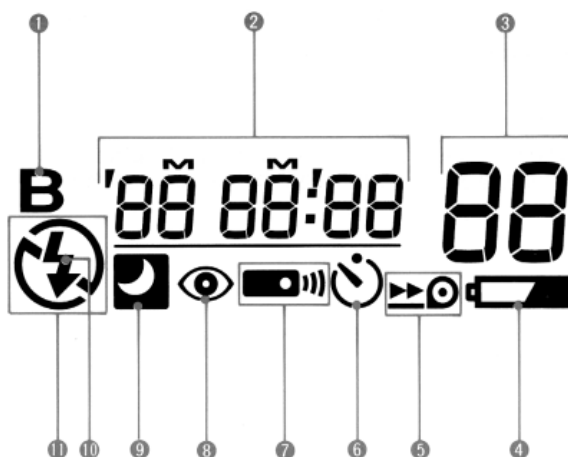
★ 高感度のため近距離では露出オーバーになることがあります。

ストロボ撮影の赤目現象

ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くにして撮影すると、発生しにくくなります。

39

表示パネル



各部の名称

① バルブ.....	[24 ページ]
② デート.....	[33 ページ]
③ フィルムカウンター	[8 ページ]
④ 電池消耗警告.....	[36 ページ]
⑤ フィルム巻き戻し.....	[19 ページ]
⑥ セルフタイマー.....	[25 ページ]
⑦ リモコン撮影.....	[27 ページ]
⑧ 赤目軽減.....	[20 ページ]
⑨ 低速シャッター.....	[23 ページ]
⑩ ストロボ ON	[22 ページ]
⑪ ストロボ OFF	[23 ページ]

液晶表示 [LCD] について

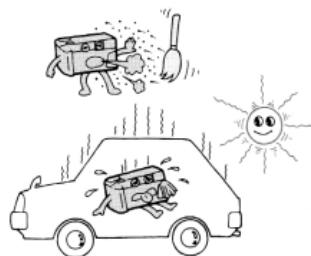
- 約60°Cの高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることがあります。これは液晶の性質によるもので故障ではありません。

41

取り扱い上の注意

カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。

- 強い振動やショックを与えたり、圧力などを加えないように注意が必要です。オートバイ・車・船などの振動は、直接カメラに伝わらないようクッションなどを入れて保護するようにしてください。
- レンズやファインダー窓のホコリはブロワーで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- カメラの保管は、防虫剤入りのタンスや薬品を扱う実験室などを避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- 高温多湿の所に保管したり、長時間放置することは避けてください。車の中は高温になることがありますのでご注意ください。
- 寒い外から急に暖かい部屋へ持ち込むと[または逆の場合も]、カメラの内外に水滴を生じます。このようなときは、カメラをバッグやビニール袋などに入れて、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから、取り出してください。



- カメラの使用温度範囲は-10°C～50°Cです。
- 一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電気接点や各部の接点に電池の液もれや手油などによる汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。汚れやゴミを取り除いても不具合の場合は当社の各サービス窓口で点検を受けてください。

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。もし、水滴が付いたときは、すぐに乾いた布できれいに拭いてください。
- サービスサイズのカラープリント〔パノラマプリントを含む〕では、画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を残しておくと安全です。
- 高性能を保つため、1～2年毎に定期点検をお勧め致します。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には点検や試し撮りをされるようにしてください。
- 業務用または過酷な条件での使用には、お勧めできません。

43

こんな写真を撮るには？



ストロボ関係

暗い所で写真を撮りたい	12
ストロボ撮影で目が赤く写らないようにしたい	20
帽子などで影になっている人物の顔を明るく写したい	22
夕景をバックに人物を写したい	23
夜景をバックに人物を写したい	24



人物撮影関係

帽子などで影になっている人物の顔を明るく写したい	22
夕景をバックに人物を写したい	23
夜景をバックに人物を写したい	24
自分自身も写真に写りたい	25



風景撮影関係

夕景をバックに人物を写したい	23
夜景を撮りたい	24
夜景をバックに人物を写したい	24



その他

カメラから離れた所からシャッターを切りたい	26
写真に日付を入れたい [消したい]	33

45

こんなときは？[詳しくは、各ページをご覧ください]

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください。

症状	原因・対処
症状1：シャッターが切れない。	原因・対処1： • プロテクターが閉まっていませんか、プロテクターを開けてください。[4 ページ] • 電池は入っていますか。電池が消耗していませんか。[36 ページ] • 表示窓に  が点滅している場合は、フィルムが終了しています。新しいフィルムと交換してください。[18 ページ]
症状2：写真の出来が良くない。	原因・対処2： • ビントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを合わせて撮影してください。[13 ページ] • 指や髪などで測距窓を覆わないようにして、シャッターボタンは静かに押してください。[5 ページ]
症状3：レンズが勝手に収納された。	原因・対処3： • プロテクターを開けたまま放置した場合は、放置後約5分間たつと、自動的にレンズが収納されます。[4 ページ] • リモコン使用時は、放置後約5分間たつと、自動的にレンズが収納され、1コマ撮影になります。[27 ページ]

症状	原因・対処
症状4: リモコンによる操作ができない。	原因・対処4: - リモコンが作動するのは、カメラの正面で約5mです。この範囲内でリモコンを操作してください。[29 ページ] - 逆光時はリモコンが作動しないことがあります。[29 ページ] - ストロボ充電中。充電が完了するまで待ってください。[29 ページ]
症状5: 表示パネルに H や L などの表示がでる。	原因・対処5: プロテクターの開閉をしてみてください。表示が消えればそのままご使用になれますが、度々出る場合には故障の可能性があります。

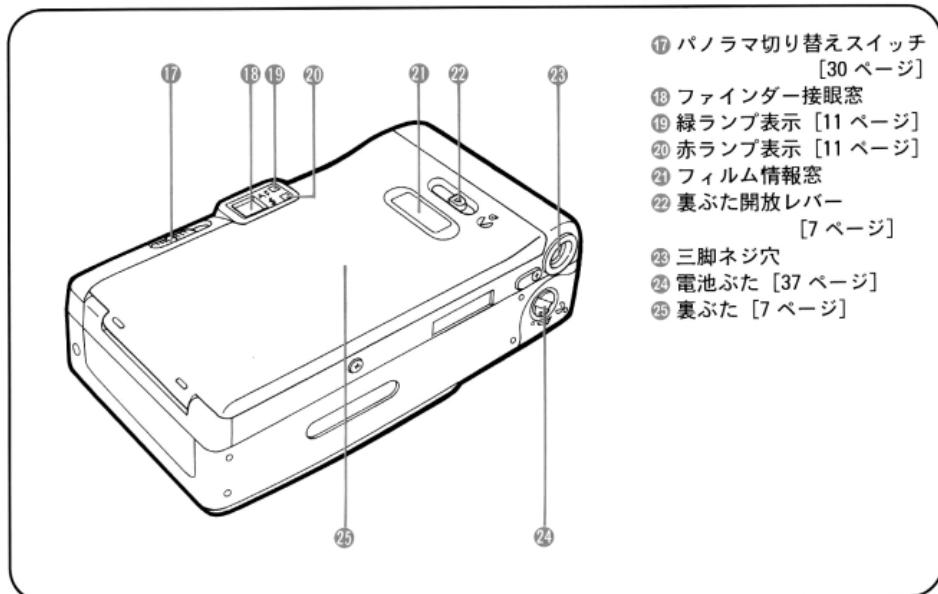
主な仕様

形式	フルオート 35mm レンズシャッターカメラ [デート付き]
使用フィルム	35mmDX フィルム専用 [135 パトローネ入] ISO25~3200 自動感度セット [1 EV ステップ] DX 以外=ISO25 固定
画面サイズ	24×36mm [パノラマ撮影時は 13×36mm]
フィルム入れ	オートローディング、裏ふた閉じにより 1 枚目まで自動巻き上げ
巻き上げ	自動巻き上げ式
巻き戻し	フィルム終了時自動巻き戻し式 [巻き戻し時間: 24 枚撮りフィルムで約 20 秒] 巻き戻し終了時自動停止、途中巻き戻し可能
撮影枚数	自動復元順算式、巻き戻しに連動 [減算]
外部表示	表示パネルに LCD 液晶表示
レンズ	ペンタックス 32mmF3.5 3 群 3 枚 画角 68°
ピント合わせ	位相差検出式 5 点測距、フォーカスロック付き、測距範囲=0.3m~∞ [無限遠]、[最大倍率約 1/7×]、赤色補助光 (スポットビーム) あり。
シャッター	プログラム AE 電子式シャッター=約 1/400~2 秒、バルブ [1/2 秒~5 分]、電磁リリース式
セルフタイマー	電子式赤ランプ表示、作動時間約 10 秒、作動後の解除可能
ファインダー	実像式 LCD ファインダー、視野率 85%、倍率 0.34×、視度=-1D [ディオプトリー]、オートフォーカスフレーム (測距不能時点滅)、視野枠、近距離視野補正枠、パノラマ視野枠、パノラマ近距離視野補正枠、ファインダー右横緑ランプ点灯: 撮影可能・点滅: 測距不能警告、ファインダー右横赤ランプ表示点灯: ストロボ発光・点滅: ストロボ充電中

露出	プログラム式自動露出 露出運動範囲 [ISO100] オート、日中シンクロ時=EV9.0～EV17 低速シャッター撮影時=EV2.6～17、マルチ測光
露出計スイッチ	シャッターボタン
ストロボ	オートストロボ内蔵 [赤目軽減機能付き]、オート=低輝度時逆光時自動発光、ストロボ ON=日中シンクロ/低速シンクロ [2秒まで使用可能]、ストロボ OFF=発光停止、バルブシンクロ=1/2 秒～5 分
ストロボ撮影範囲	[ISO100 使用時] 0.3～3.7m
ストロボ充電時間	約 3 秒 [当社試験条件による]
リモコン	赤外線リモートコントロール、リモコンシャッターボタン押しで 3 秒後撮影、作動距離=カメラ前面 5m 以内
リモコン電源	リチウム電池 [CR1620] 1 個 [サービスセンター交換]
リモコン大きさ・重さ	22.0 [幅] × 50.0 [長] × 9.5 [厚] mm 9g [電池を含む]
電源	3V リチウム電池 [CR123A 相当品] 1 本使用
撮影可能本数	24 枚撮りフィルム使用時約 30 本 [ストロボ 50% 使用、当社試験条件による]
電池消耗警告	表示パネルに  が点灯、点滅時シャッターロック
デート機構	クォーツ制御・液晶表示式デジタル時計、オートカレンダー [西暦 2030 年まで、閏年は自動修正]、パノラマ時写し込み可能
データ写し込み方法	フィルム前面からの写し込み
データの種類	①年・月・日 ②日・時・分 ③----- [データ写し込み無し] ④月・日・年 ⑤日・月・年
大きさ・重さ	107.0 [幅] × 58.0 [高さ] × 35.0 [厚み] mm 155g [電池別]
付属品	ストラップ、ソフトケース、リモコン

49

各部の名称（背面）



1. 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口
に直接お持ちください。郵送の場合は、カメ
ラの化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に
耐えるようしっかり包装し、書留小包便でお
送りください。不良見本のフィルムやプリン
ト、また故障内容の正確なメモを添付してい
ただけると原因分析に役立ちます。



2. 保証期間中〔ご購入後1年間〕は保証書〔販売
店印および購入年月日が記入されているも
の〕をご提示ください。保証書がないと保証
期間中でも修理が有料になります。なお、販
売店または当社各サービス窓口へお届けいた
だく諸費用はお客様に負担願います。
3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。
運賃諸掛りについてもお客様にご負担願いま
す。
4. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後7
年間を目安に保有しております。したがって
本期間中は原則として修理をお受け致しま
す。なお、期間以後であっても修理可能の場
合もありますので当社の各サービス窓口にお
問い合わせください。
5. 海外旅行をなさる場合、各サービス窓口でお
手持ちの保証書と交換に国際保証書を発行し
ております。〔保証期間中の有効〕

51

●お問い合わせは次の各サービス窓口へ

ペンタックスフォーラム	〒163-04 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 新宿三井ビル(当番)	☎03(3348)2941(代)
ペンタックスフォーラム・大阪	〒542 大阪市中央区南船場1丁目17番9号	☎06(271)3960
旭光学 東京サービスセンター	〒104 東京都中央区銀座西8丁目10番地	☎03(3571)5621(代)
〃 札幌サービスセンター	〒060 札幌市中央区大通西8丁目1番地1号 朝日生命札幌大通ビル	☎011(241)8742(代)
〃 仙台サービスセンター	〒980 仙台市青葉区中央2丁目2番10号 仙都会館	☎022(261)5681(代)
〃 新潟サービスセンター	〒951 新潟市本町通七番町1153番地 新潟本町通ビル	☎025(224)8391(代)
〃 横浜サービスセンター	〒231 横浜市中区不老町1丁目6番9号 横浜エクセレントビル	☎045(681)8771(代)
〃 静岡サービスセンター	〒420 静岡市伝馬町24番2号 住友建設ビル	☎054(255)6308(代)
〃 名古屋サービスセンター	〒461 名古屋市中区栄1丁目19番8号	☎052(962)5331(代)
〃 金沢サービスセンター	〒920 金沢市尾張町2丁目8番23号 太陽生命ビル	☎0762(22)0501(代)
〃 大阪サービスセンター	〒542 大阪市中央区南船場1丁目17番9号	☎06(271)7996(代)
〃 広島サービスセンター	〒730 広島市中区大手町3丁目7番2号 大東京火災広島ビル	☎082(248)4321(代)
〃 福岡サービスセンター	〒810 福岡市博多区中洲中島町3番8号	☎092(281)6868(代)
〃 お客様相談室	〒104 東京都中央区銀座西8丁目10番地	☎03(3572)6479

※日曜・祝日および土曜日は原則として休みます。ただし、年末年始を除きペンタックスフォーラム(新宿)は年中無休、ペンタックスフォーラム・大阪は日曜・祝日を休みます。

ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブで
す。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理工
金の会員割引など様々な特典があります。

お申し込み・お問い合わせは下記ペンタックスファミリー事務局
まで。

〒106 東京都港区西麻布3丁目24番20号
交通安全教育センター 3F ☎03(3401)2187



旭光学工業株式会社
〒174 東京都板橋区前野町2丁目36番9号
ペンタックス販売株式会社
〒100 東京都千代田区永田町1丁目11番1号